

5. 発疹性黄色腫 eruptive xanthoma

直径5 mm以下の小型の黄色調丘疹が殿部，肩，四肢伸側などに多発する。通常は痒痒を伴う。高トリグリセリド血症（I，IV，V型）に伴う（図17.18）。糖尿病などに続発して生じることもある。

6. 疣状黄色腫 verruciform xanthoma

口腔内や口唇，外陰部に好発する，黄色から赤色調でドーム状～有茎性，表面が顆粒状の小結節（図17.19）。血中脂質は正常。病理組織学的には，真皮乳頭および乳頭下層に脂質を豊富に含んだ多数の泡沫細胞の浸潤をみる。尋常性疣贅や疣状癌との鑑別を要する。



図17.19 疣状黄色腫 (verruciform xanthoma)

D. 無機質 mineral

1. 亜鉛欠乏症候群 zinc deficiency syndrome ★

類義語：腸性肢端皮膚炎 (acrodermatitis enteropathica)

Essence

- 亜鉛の欠乏による疾患で，皮膚炎，脱毛，下痢が3主徴。
- 常染色体劣性遺伝をとる先天性（腸性肢端皮膚炎）と，経中心静脈栄養などによる後天性に大別。
- 四肢末端，外陰部，開口部（眼囲，鼻孔，口囲，耳孔）といった部位に，紅斑とびらんを形成し，乾癬や脂漏性皮膚炎，カンジダ症などに類似した病像をとる。

症状

皮疹は四肢末端や外陰部，開口部（眼囲，鼻孔，口囲，耳孔）などに対称性に生じる（図17.20）。丘疹や小水疱，膿疱を伴う紅斑で初発し，びらん，痂皮を生じる。環状の鱗屑を形成し，乾癬や伝染性膿痂疹，脂漏性皮膚炎，カンジダ症や壊死性遊走性紅斑に類似した病像を示す。爪の変形や爪囲炎もきたす。脱毛はほとんどの症例にみられ，後頭部や側頭部から始まり，全頭髪や眉毛などに及ぶ。その他の症状として，下痢や嘔吐を繰り返す。

病因

先天性では常染色体劣性遺伝形式をとり，亜鉛の輸送蛋白ZIP4をコードするSLC39A4遺伝子の変異により離乳期に発

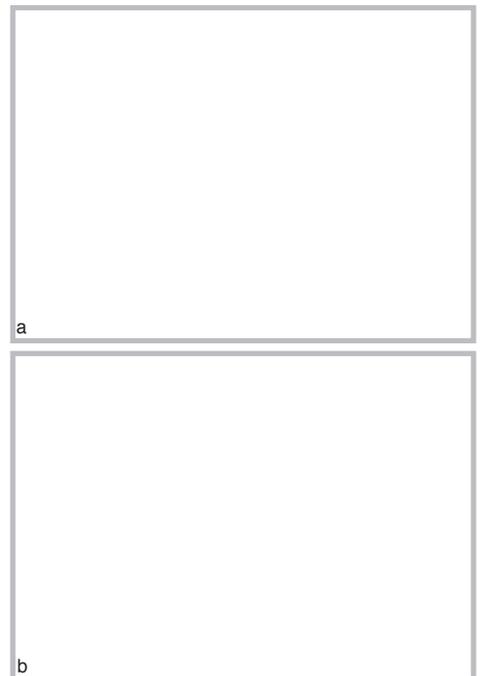


図17.20① 亜鉛欠乏症候群 (zinc deficiency syndrome)

a：外陰部に広範囲の膿痂疹様の紅斑を認める。一部水疱，膿疱も伴っている。b：口囲や頬部の落屑を伴う紅斑。